



教職支援センター
中道室長



看護学科4年
大野 美咲さん



神戸市 養護教諭

現役 合格!!

今年度、神戸市の養護教諭に見事現役合格をした大野さんに、養護教諭を目指したきっかけや採用試験対策についてお聞きしました。

中道室長 大野さん、神戸市の養護教諭採用試験に現役合格、おめでとございます。倍率約8倍という難関を突破されたと伺いましたが、養護教諭を目指されたきっかけは何だったのでしょうか？

養護教諭を目指したきっかけ

大野さん ありがとうございます。私が養護教諭になりたいと思ったのは、小学生のころです。当時、私を通った小学校の保健の先生が本当に素敵な方で、保健室に行くことが多かった私をいつも優しく迎え入れてくださったんです。けがや体調不良への対応だけでなく、悩みごとや相談にも親身になってくださって。その経験から、「私もこんな素敵な人になりたい」「誰かのために役立ちたい」と思うようになりました。それが養護教諭を目指すきっかけです。

中道室長 子どものころに出会った先生の影響って、とても大きいですよ。その夢を叶えるために看護学科で学びながら教諭を目指す事は、相当な努力が必要だったのではないのでしょうか？



※2

大野さん そうですね。看護資格を取るための勉強では、1年生のときから課題や授業、実習がたくさんあり、教職の勉強に力を入れる時間を確保するのは本当に大変でした。それでも、勉強会や講座には積極的に参加するよう心がけました。少しでも教職の勉強を進めたいという思いが強かったんです。

看護と教職の両立

大野さん 看護の学びと教育の学びを互いに活かすことを意識しました。例えば、看護で学んだ「人の状態を見立てる力」を教育の場面でも応用できるように考え、面接対策や二次試験対策では、看護の実習で培ったコミュニケーション力を活かしました。両方の学びを結びつけることで、自分の中で新たな発見がありましたし、それが自信にもつながったと思います。

中道室長 素晴らしい取り組みですね。試験対策の際に、特に役立ったと感じたことはありますか？

大野さん やはり、周囲の支援です。一緒に頑張る友人や、的確なアドバイスをくださる先生方の存在が本当に大きかったです。一人で全てを抱え込むのはとても難しいことなので、周りを頼りながら進めたことが合格につながったと思います。

中道室長 周囲との連携も、大野さんの合格の秘訣だったんですね。いよいよ来年の4月から神戸市の学校で養護教諭として働かれるわけですが、どんな保健室の先生になりたいですか？

大野さんの目指す養護教諭像

大野さん 子どものころにあげられた先生以上に、子どもたちにとって安心できる存在になりたいと思っています。保健室が「心と体のオアシス」となるような場所をつくり、子どもたちが自分らしくいられる空間を提供したいと思います。

中道室長 大野さんなら、きっと子どもたちにとって素敵な保健室の先生になれると思います。これからの活躍を心から楽しみにしています。本日はありがとうございました。

大野さん こちらこそ、ありがとうございました。頑張ります！



※1

写真
※1 教職支援センターで自主学習をする学生
※2・3 模擬授業の練習をする大野さん



※3